



常識講座 日刊報日曜日 日休元一月廿五日 廣告知料 一行四十 場所指定 二十分 發行所 平谷政 新島平市大町二三 新いむき新聞社

平市議選舉は 七月十日に決定

告示は今六月十九日

平市長代理青沼録太郎氏は市制事務その他市議員選舉期日等に關し出縣打合せの結果市議員選舉は來七月十日に決し本月十九日告示の筈であるが五千の有権者に三十名の定員を目標して立候補される噂のもの舊平町のみで既に四十数名(内新頭十九名)を算へこれに舊平窪村から少なくとも四名の出馬を屈指されてゐるので總數五十名に達するものゝ如く金二百圓を供託し最高限度三百圓の選舉費を奮發して勝を制せんとする争ひは相當の混戦を豫想されてゐるが警察當局では市議の首途である今回の選舉は淨不淨の基本をなすものとして縣の嚴選もあるの故に嚴重なる取締をなす方針であると

▲政友二八六志賀隆義 二七馬目太治 二〇〇小島義彦 一八六都築源作 一七八林田滿 一三九柳瀬菊次郎 一三八島田兼吉 一三二茅根正夫 一三〇小松定次郎 一三〇加美山美雄 一八八井上恵助 一二七上原四郎 一二二佐藤三平 一二二猪狩喜平治 一七田中義枝 一〇四山崎喜一 九三野木力 八八遠藤嘉平 八五車野末吉 一〇〇山崎辰吉(以上二十名) ▲民政二一廣瀬貞 一一

絶對多數の 政友勢力

内郷村議改選結果 民政六名中立四名 石城郡内郷村は全縣稀に見る大村で定員三十名の村議改選に三十八名の立候補者が四千九百十票の獲得に猛烈な争ひを交へられてゐたが昨八日の選舉結果は左記の如く投票四六〇三(棄権二〇七)無効二二七で黨派別得票を概算すれば

匪賊討伐に負傷 佐伯部隊の二等兵

北滿に於て活躍中の開村部隊長麾下の各部隊は執拗頑強なる共匪等が廣積極的行動に出でんとするに對し潰滅の決意を以て松花江兩岸山岳地帯の大密林と濕原を縫ひつゝ果敢なる討匪行を續け着々その成果を収めつゝあるが佐伯部隊永井隊は去る五日午後江南に於て百五十名の匪賊と交戦これを撃破し敵に大損害を與へ

小名濱町議改選 激戦

出馬三十三名 小名濱町の町議選舉は來る十七日に行はれるが定員二十四名に對し三十三名の立候補間に猛烈な戦ひを演じられてゐると

町村長支會の總會 新會長には伊藤氏

副會長には金成好間村長 青沼前會長に二百圓

石城郡町村長支會では既報の如く今九日午前十時から平市會議事堂に總會を開き青沼支會長が平市制の施行で席を退いた後任に關し協議したが副支會長伊藤飯野村長を満場一致で決し副會長には證術委員を擧げて金成好間村長の推薦

平驛五月の貨物 三千二百圓増収

取扱の數量は減少したが 遠地送の貸切を増す

平驛に於ける去る五月の貨物成績は左記の如く一萬三千七百七十圓余の收入を上げ前年同期に比して三千二百三十七圓を増収したが量に於ては發着共に減じてゐる、これは遠地送りの鐵屑その他が多爲りめで數字を上げる

ウーマン・ハンターは女の尻を追い廻す男、好色派とか種色家を目指す、ウーマンには女または婦人ではハンターは獵人、探求者、追求者だ、ウーマン・シリーズなら鹿理窟のことだ、時半から平商、平一小學校*

三三五五(錢) 括弧内は前一年同期

満州昭和製鋼所で 職工の大量募集

伍長以下の郷軍と農村青年 廿一才から廿九才まで

平職業紹介所では満州鞍山昭和製鋼所からの申込みで同所職工を募集轉送中であるが応募資格は後記の如く來る七月三日仙台聯合區で試験の上採用になれば日給一圓五十錢乃至一圓六十錢の外に手当がある待遇で旅費は全支給される、志願者は今六月十七日まで願書、履歴書、戸籍抄本、身分證明書、体格検査證、寫眞及び父兄の同意書を紹介所に差出して欲しいと

偽文學士 懲役四年

石城郡外農村の富豪を巧妙な手段で騙し一萬數千圓を詐欺せる情婦の偽文學士佐

新舊署長の 歡送迎

明日住吉屋本店で 平署長から保安課長に榮轉せる柴田鶴作氏と後任八卷警視外齋藤、堀川兩警部補の榮轉に對する歡送迎會は裁判所側及び青沼平代理長、井上消

轉者送別會 平署員一同の榮

平署員一同は同署關係今回の榮轉進級者に對し明日午後二時谷口樓に於て日刊記者を加へた送別會を催すと

女子小學の 職員視察

青森縣石町女子小學校職員六名は明日平市第二小學校視察に來平尚ほ市内及び同地方各勝地を探ぐる由

兒童口腔検査

平第一小學校では今九日から二日間全兒童に對して口腔検査を施行すると

今晩は北西の風、曇 明日は北の風、曇後晴 (小名濱測候所)

賀縣小城郡小町字西小路生 前科五犯於保庄兵衛(云)及 び情婦關連縣警署警務科生 吉村たけ(三七)の兩名は今九 日平區公廷で判決言渡しあつ たが兵衛は懲役四年、たけは八月で何れも服罪した

平第一の兒童ト ラホーム治療

平第一小學校では今九日からトラホームの治療を開始したが現在患者六十三名で前年に大差ないと

電話 七二八番 壽司、天井ん 御料理仕出し

平市南町

喜久水

世末に於ける郷土町の股賑 難路を極めた中に、里軍等の 好む鐵笛が土産に流行し、遠く江戸までも聞かされてゐたのが想像される。

奥州岩城にて、所の祭に賣 篋あり、そのかた、今俗に いふ女のさす、かんざしといふもの、様に、二俣に針のごとく、角たてる鐵にて三寸許につくりて、又針の

隨筆 目黒祐天寺より

(勿來文 庫雜抄)

鮫川漁史

安永前的小栗百萬と云ふ人が書いた「居龍工廠」に據ると、磐城の祭日に、郷土玩具の一種なる笛があつた。併し其れは磐城(今の石城郡全体

唐菜方面

桃の栽培 (元)

聯農試行 齋藤技師
城分岐 齋藤技師

(2) 收穫
▲剪定十二月下旬區、袋掛六月十二日、袋掛百に對する個數七・七、重量三貫一六八、一個平均重量四一・九
▲剪定三月下旬區、袋掛六月十二日、袋掛百に對する個數八〇・二、重量三貫一七五、一個平均重量三九・九六
收獲期八月二十六日
(ロ) 夏季剪定、夏季剪定としては五月上旬中頃芽掻きをやつて密生すぎないやうにする、又發育の特に旺盛な枝條に對しては摘心を行つて二番枝を發生せしめることがある然し冬季剪定が充分よく行はれた樹に於ては早期の芽掻き以外は比較的夏季剪定の必要が多い、冬季剪定の粗放なものは夏季剪定が必要となつてくる。

七、摘果及び袋掛
剪定によつて果樹枝の數は到限されるのであるが尚ほ摘果を行つて結果數を制限する必要がある、摘果は樹勢の衰弱を防ぎ隔年結果を防止するのが一つの目的である、これに伴つて病虫害の軽減、果形の増大、玉揃ひを良くすると共に品質向上の意味も多分にあつてゐる。

(一) 摘果の時期、摘果の時期は樹勢の衰弱を防ぐ上から考へれば花蕾の時に行為すべきであるがこれは多くの努力を要すると共に開花期に天候不順其他によつて實止まりの歩合が低下する恐れがあるの

で花蕾の除去は通常は行はな
い、果實の發育をよくすることから考へれば落花早期に行ふ方がよいのであるが摘果後病虫害に犯されることが生理的落果のことを考へればある程度まで遅い方が安全性が多いのである。

油問屋 関内油店
支店 山形市 電話 三二八
支店 支那 電話 三三三
支店 支那 電話 三三三
支店 支那 電話 三三三
支店 支那 電話 三三三

お醤油は ヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命磐城代理店
山崎與三郎
電話 一七〇
電話 二七〇

勸業、復興、割引
各債券
現物賣買
平市仲間町
横山商店債券部
電話 二七二番
振替東京九〇六-〇

北川外科
平市新川町二七(電話四六四)
血液検査毎日
インテモ
入院チキマス
技師 小林良次

産科 婦人科 院長 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄
平市新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話 一六六番

中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野憲次
日本齒科 醫學士 西川誠
平市田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

和洋鋼鐵、金物問屋
高久病院
平市田町 電話 五三三番
院長 醫學士 高久忠

益屋商店
九九・九電

夏が来た、夏が来た、
カンカン帽は踊る... 冠つたタイプ
お... 涼味... 涼味... 涼味... 涼味... 涼味...
ツルヤ (平市四) 電話 四〇

平病院 (平市元公共病院跡) 電話 六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
皮膚泌尿科 部長 醫學士 池谷宗三郎
外科 部長 醫學士 鈴木定藏
物理療法科 部長 醫師 岡田重徳
藥劑師 部長 藥劑師 吉本幸平
診療時間 毎日午前八時より午後九時止
夜間診療に從事す(急患は此限にあらす)
往診隨時、病室完備(自炊の便あり)

安流丸
持山野邊藥局

平市紺屋町
藤沼醫院
電話 五〇七番